

第 28 回 アイリス食の会研修会 報告

日時：2019 年 6 月 22 日（土）13：40～16：00

場所：広島女学院大学 ソフィア 2 号館 201 教室・ソフィア 1 号館第 1 調理実習室

内容：講演会、アイリスタイム

- ◆講演会 「現場に生かす家族を一つのケアユニットとしたアプローチ：ある症例をもとにして」
講師：森山 美知子先生（広島大学大学院医系科学研究科成人看護開発学 教授）

◆アイリスタイム

～第 28 回アイリス食の会を終えて～

<講演会>

2019 年 6 月 22 日に開催されたアイリス食の会では、「現場を生かす家族を一つのケアユニットとしたアプローチ：ある症例をもとにして」と題して、広島大学大学院医系科学研究科成人看護開発学 森山 美知子先生にご講演を頂きました。

森山先生は数多くの症例をご経験された中で、「家系図」から家族の中で苦しんでいる人やその原因、健康状態まで考察できるため、家族全体を視野に入れたアプローチの重要性を多くのメディカルに発信されています。「どんな薬よりも、家族が働きかけることが重要」という力強いメッセージが心に残りました。家族を患者様の背景としてとらえるのでは問題の本質が見えないことを学び、家族をひとつのケアユニットしてみることが、目の前の患者様により確かな支援をすることができると思いました。家族は第二の患者様であることは間違いありません。私自身も家族が病にかかった時、不確定な将来への不安や恐怖、生活スタイルの変化によるストレス、「あの時、こうしておけばよかった」と自身を責める時もありました。そんな時、そばで励ましてくれたのは兄弟でした。1 人ではとても耐えられないことも、家族が支えあうことで大きな力になることを身をもって感じました。

この度のご講演は、医療の世界で働く者だけでなく誰しもに降りかかる問題であり、考えるべき課題だと思います。現在の自分の家族、将来の家族に対して、問題解決を先延ばしにせず、よい信頼関係が交差する家族関係を築き上げたいと思いました。

<アイリスタイム>

女学院大学を卒業された先輩が経営されている“hug”の手作りクッキーを頂きながら、助手の先生が注いでくださる飲み物に、「元気？^^」と話を聞いてくださる先生方、それぞれの地でご活躍されている先輩方からの貴重なお話…とても心温まる心地よいアイリスタイムが大好きです。この春に広島の製造メーカーで管理栄養士として採用されましたが、大きな孤独とプレッシャーで、メンタルを保つのも一苦勞な毎日です。そんな私に皆様からの応援メッセージが、とてもとても励みになりました。ありがとうございました。大学時代に培った自信と、国家試験を乗り越えた根性、そしていつでも相談しに帰れる大学があることへの安心が、毎日の励みになっています。「また、ここに帰ってきたい。よい報告ができるよう頑張ろう！」と強く思った時間でした。

2019 年 3 月卒業生 中下 涼

アイリスタイムの様子

